

第1日目 3月25日 (土) 午前

| 開始時刻 | 第 1 会 場 | 第 2 会 場 |
|-------|--|--|
| 9:00 | | |
| 9:20 | | <p>〈地形〉</p> <p>202 水野向陽（新潟大・学）ほか：中央アジア，天山山脈北部地域の氷河起源型岩石氷河の形成環境</p> |
| 9:40 | | <p>203 石川 守（北海道大）ほか：境界永久凍土域での過剰地下水（excess ice）が関与する凍土地形</p> |
| 10:00 | <p>〈災害〉</p> <p>104 吉田圭佑（都立大・学）ほか：光学衛星画像とDEMに基づく機械学習を用いた土砂災害発生箇所検出</p> | <p>204 飯田幹太（北海道大・院）ほか：北海道羊蹄山山頂部における2021-22年の地温観測</p> |
| 10:20 | <p>105 中山大地（都立大）：伊豆大島元町地区における火山泥流シミュレーション</p> | <p>205 曾根敏雄（北海道大）ほか：北海道，大雪山における最近の永久凍土・周氷河地形調査</p> |
| 10:40 | <p>106 小岩直人（弘前大）ほか：デジタル画像を用いた洪水氾濫の時空間変化の復元—2022年8月豪雨における青森県中村川下流域の事例</p> | <p>206 松岡憲知（茨城大）：霜柱が運ぶ礫の大きさと移動速度</p> |
| 11:00 | <p>107 内山琴絵（信州大）：令和元年東日本台風における被災事業所の災害対応—長野商工会議所管内における状況</p> | <p>207 杉山博崇*（新潟大・学振DC）・奈良間千之（新潟大）：飛驒山脈北部の高山帯における深度別地温の観測</p> |
| 11:20 | <p>108 澤田康徳（東京学芸大）：熊谷市行政実務者における他自治体の暑熱対策に対する意識</p> | <p>208 瀧ヶ崎愛理*（新潟大・院）・奈良間千之（新潟大）：杵子岳北カールの岩石氷河の地表面変動</p> |
| 11:40 | <p>109 岩船昌起（鹿児島大）：奄美群島での個別避難計画の策定と情報共有—東日本大震災時の「避難行動要支援者」の避難事例を顧みつつ</p> | <p>209 荻谷愛彦（専修大）ほか：大谷崩（斜面崩壊）はCE1707に突発したシングル・イベントか？</p> |
| 12:00 | <p>昼 休 み</p> | |

第1日目 3月25日（土） 午前

| 第 3 会 場 | 第 4 会 場 | 開始時刻 |
|--|--|-------|
| 〈政治・社会〉 | 〈歴史・文化〉 | |
| 301 中島芽理（神戸大・院）：英語圏の人文地理学におけるリズム分析の展開 | 401 住吉康大（東京大・院）：定額住み放題サービス利用者の日記で語られる場所—移動する中で場所感覚はどのように構築されるのか | 9:00 |
| 302 朝倉紀香*（神戸大・学）・原口 剛（神戸大）：揺れる身体と都市の表象—映画『ハッピーアワー』に関する地理学的考察 | 402 菅原 至（明治大・院）：小笠原「旧島民」の帰島・定住の過程 | 9:20 |
| 303 市道寛也（大阪市立大・院）：1960年代の大阪港周辺における水上生活者の生活圏 | 403 浦山佳恵*（長野県環境保全研）・野間晴雄（関西大）：中央高地の半自然草地はどのように残ってきたのか | 9:40 |
| 304 遠城明雄（九州大）：1930年代の北九州地域における社会運動 | 404 岩月健吾（名古屋大・院）：民俗文化を支える生き物たち—伝承自然遊び「クモ相撲」を事例に | 10:00 |
| 305 志村 理（名古屋大・院）：国内の外国人学校数とその変動 | 405 貝沼良風（新潟大・院）：えちごせきかわ大したもん蛇まつりにおける担い手の構成と意識 | 10:20 |
| 306 加茂浩靖（日本福祉大）：貧困対策としての子どもの学習・生活支援事業の推進と地方自治体の対応 | 406 中村周作*・大平明夫（宮崎大）：五ヶ瀬川川上—川下地域における伝統食の摂食変化に関する比較研究—高千穂町と延岡市沿海地区を事例として | 10:40 |
| 〈地域計画・地域政策〉 | | |
| 307 石原 肇（近畿大）：市民参加型映画の出演者と鑑賞者の意識について—門真フィルムコミッション制作映画を事例として | 407 原田 歩（広島大・院）：近世城下町における寺院立地の変遷に関する研究—名古屋城下町を事例に | 11:00 |
| 308 和田 崇（県立広島大）：札幌冬季五輪2030：推進する側の論理と反対する側の論理 | 408 本多忠素（大阪公立大・院）：大阪市における納骨堂の増加—墓地供給主体に着目して | 11:20 |
| 309 大西達也（岡山大・院）ほか：ダム事業中止後の地域の現状と地域再生への条件—徳島県那賀町木頭地区を事例にして | 409 中條暁仁*（静岡大）・梶 龍輔（駒澤大）：寺院統廃合の実態とその地域的特徴 | 11:40 |
| 昼 休 み | | 12:00 |

第1日目 3月25日 (土) 午前

| 開始時刻 | 第 5 会 場 | 第 6 会 場 |
|-------|--|---|
| | 〈都市・交通〉 | |
| 9:00 | 501 上村要司 (Geo Laboratory) : 奈良県生駒市の戸建住宅地における空き家に関する住民意識と対策状況 | |
| 9:20 | 502 若林芳樹 (都立大) : 東京都八王子市の郊外住宅地における空き家の現状と対策 | 〈農業・農村〉 |
| 9:40 | 503 上杉昌也 (福岡工業大) : 福岡都市圏における郊外団地住民の近隣空き家に関する認識と対策状況 | 602 岩崎聡史* (東京農工大・院)・新井祥穂 (東京農工大) : 原発被災地域の営農再開農家の存在形態—福島県双葉郡富岡町を事例に |
| 10:00 | 504 岡田晃暉 (筑波大・院) : 利用者の働き方からみたコワーキングスペースの働く場所としての役割—東京都渋谷区を事例に | 603 佐藤寛輝 (立正大・院) : 宮城県角田市における技術導入からみた水稲作経営体の存続要因 |
| 10:20 | 505 清水友輝 (筑波大・院) : ポスト郊外化期における東京大都市圏外部郊外の選別—拠点性および多様性に着目して | 604 嶋本貴瑛 (都留文科大・院) : 石川県羽咋市における自然栽培の地域的受容と社会経済的意義 |
| 10:40 | 506 栗林 梓 (東京大・院) : 東京の県人寮は不要になったのか?—生きられた信濃学寮 | 605 原田一学 (島根大・学) : 地域間の多様な社会関係資本がもたらす農業経営への影響—鳥取県日南町における水稲作の企業オーナー制度の導入を事例に |
| 11:00 | 507 山下 潤 (九州大) : 持続可能性移行からみた運輸関連ニッチの地理的分布に関する予備的考察 | 606 山崎恭平 (東京大・院) : 山間地域におけるユズ生産の拡大と産地内部構造変化—高知県安芸市の事例を中心に |
| 11:20 | 508 田中健斗 (都立大・院) : 東京都多摩地域における鉄道端末交通の選択要因分析 | 607 小池野々香 (京都在・院)ほか : 柿産地としての奈良県五條市の形成—「日本一の柿のまち」ができるまで |
| 11:40 | 509 柴田卓巳 (東京大・院) : 国鉄の中長距離輸送特化に関する日韓比較研究—韓国ではなぜ可能だったのか | 608 河本大地 (奈良教育大)ほか : 柿産地としての奈良県五條市における生産・流通と担い手—「日本一の柿のまち」の課題と可能性 |
| 12:00 | 昼 休 み | |
| | | 609 川久保篤志 (東洋大) : 成熟経済下における柑橘果汁産業の変貌—高付加価値化と新規参入に注目して |

第1日目 3月25日（土） 午前

| 第 7 会 場 | | 開始時刻 |
|--|--|-------|
| シンポジウムS1（公開） | | |
| 次期改訂に向けての小中高地誌 学習の新たな方向性 | | 9:00 |
| 〔オーガナイザー〕 田部俊充（日本女子大）・ 井田仁康（筑波大）・池 俊介（早稲田大） 日本地理学会地理教育公開講座委員会 | | 9:20 |
| 開始時刻 9:00 | | |
| S101 9:00-9:30 田部俊充*（日本女子大）・吉田和義 （創価大）：次期改訂に向けての小中高 地誌学習の新たな方向性 | | 9:40 |
| S102 9:30-9:50 池 俊介（早稲田大）：地誌学習の特徴 と次期改訂に向けたアイデア | | 10:00 |
| S103 9:50-10:10 三橋浩志（文部科学省）：ICT を活用 した地理授業の方向性 | | 10:20 |
| S104 10:10-10:30 菊地俊夫（都立大）：地理学者が考える 次期改訂に向けた魅力的な地誌学習のアイ ディア | | 10:40 |
| S105 10:30-10:50 寺本 潔（東京成徳大）：初等教育，社 会科における日本の地方地誌教育への一 つの提案 | | 11:00 |
| 〔休憩〕 10:50~11:00 〔総合討論〕 11:00-11:25 | | |
| S106 11:25-11:45 井田仁康（筑波大）：次期改訂に向けて の小中高地誌学習の新たな方向性（総 括） | | 11:20 |
| 〔おわりに・次回予告〕 11:45-12:00 | | 11:40 |
| 終了時刻 12:00 | | |
| <div style="text-align: center;"> <p>昼 休 み</p> </div> | | 12:00 |

第1日目 3月25日 (土) 午後

| 開始時刻 | 第 1 会 場 | 第 2 会 場 |
|-------|---|--|
| | 〈気候〉 | |
| 13:00 | 110 菅野洋光* (農研機構)・松山 洋 (都立大) : 古文書に基づく小笠原諸島 父島における1906年以前の降水量の復元 (2) 父島 扇浦における気象観測 | |
| 13:20 | 111 大久保さゆり (農研機構東北研) ほか : 北日本にみられる4月, 8月の気温の相関関係とその要因 | 〈地形〉 |
| 13:40 | 112 平野淳平* (帝京大)・三上岳彦 (都立大・名誉) : 北極振動と日本の冬季気温との関係にみられる数十年規模変動 | 211 浦田健作 (九州大) ほか : 沖縄島北中部太平洋沿岸域の石灰岩鍾乳洞への海面変動の影響 |
| 14:00 | 113 仁科淳司* (明治学院大・非常勤)・三上岳彦 (都立大・名誉) : 夏季の東京における海面気圧日変化の経年変化 | 212 菅 浩伸 (九州大) ほか : 琉球列島・与那国島沿岸のサンゴ礁地形—分布海域とその特徴について |
| 14:20 | 114 鈴木信康* (筑波大・院)・日下博幸 (筑波大) : 黒潮続流域の海面水温分布に対する地形性収束線の応答 | 213 中井達郎 (国士舘大) : サンゴ礁礁縁部に発達する縁脚—縁溝系地形の研究における衛星画像・航空写真活用の有効性と課題 |
| 14:40 | 115 工藤達貴* (筑波大・院)・日下博幸 (筑波大) : 田沢湖東岸で吹く生保内だしの気候学的研究 | 214 長谷川 均*・中井達郎 (国士舘大) : UAVマルチカメラ画像によるサンゴ礁浅海域のモニタリング |
| 15:00 | 116 浅野裕樹* (筑波大・院)・日下博幸 (筑波大) : 山越え気流に対する山脈の幅の効果 | 215 佐野 亘*・木村 颯 (九州大・学振DC) : 空中写真を用いた過去80年間のサンゴ礁生態系変遷の復元 |
| 15:20 | 117 内田裕貴* (法政大・院)・山口隆子 (法政大) : 関東平野における気候学的観点から見たカシノの分布 | 216 田中 圭 (日本大) ほか : 久米島ハテナハマにおける空中写真・衛星画像を用いた基底地形の復元 |
| 15:40 | 118 中川清隆*・渡来 靖 (立正大) : 強制振動加熱に対する都市境界層熱収支モデルの応答 | 217 堀 信行 (都立大・名誉) : 「ゆいむん」の世界観を支える精神性に関する考察 |
| 16:00 | | 218 藤本 潔 (南山大) ほか : マングローブ生態系への海面上昇影響に関する研究から見えてきたこと—初期の地形学的手法による予測は果たして正しかったのか |
| 16:20 | | 219 宮城豊彦 (地域情報カスタマイズユニット) ほか : 温暖化による急激な海面上昇過程において乾燥地帯海岸平野一帯で進行するマングローブ林分布変動—地球規模で詳細にマングローブ林の分布を把握する企画 |
| 16:40 | 第7会場 表彰式 16:45~17:15 2021年度吉野賞受賞記念講演 17:30~18:15 大村 纂会員 : 熱収支気候学の発展と応用 | |
| 17:00 | | |

第1日目 3月25日（土） 午後

| 第 3 会 場 | 第 4 会 場 | 開始時刻 |
|--|---|-------------|
| 〈地域計画・地域政策〉 | | |
| 310 佐藤 洋（東京大・学振DC）：地方分権に関する地理学研究成果と課題 | | 13:00 |
| | 〈歴史・文化〉 | |
| 311 美谷 薫（福岡県立大）：福岡県における水道事業の広域再編・連携の展開 | 411 阿部美香（京都府立大・学振RPD）：近世末期大坂の名所案内記にみる晝鐘成の風景観 | 13:20 |
| 312 山崎 優（都立大・学）ほか：多摩ニュータウン諏訪・永山地区におけるネットワーク分析を用いた避難所の評価 | 412 麻生 将（二松学舎大）：視覚化された無教会主義の思想—斎藤宗次郎の風景面を通して | 13:40 |
| 〈都市・交通〉 | | |
| 313 河崎駿也（東京大・学）：地方都市における駅前再開発が中心市街地に与える影響—宮崎駅周辺の商店街に注目して | 413 永迫俊郎（鹿児島大）ほか：大隅半島高山やぶさめに残る伝統的な世界観 | 14:00 |
| 314 土屋 純*（関西大）・秋山祐樹（東京都市大）：モバイル人流データを用いた都市地理学研究の可能性 | 414 古関大樹（京都女子大・非常勤）：明治初年の地籍図の作成過程に関する一考察—京都府南部の事例を中心に | 14:20 |
| 315 中村瑞歩（筑波大・院）ほか：静岡県三島市の水辺空間における地域住民の場所イメージと環境行動 | 415 後藤 寛*（横浜市立大）・三沢伸生（東洋大）：井上円丁の全国巡講の実態とそれを通してみる近代日本の地域構造 | 14:40 |
| 316 片岡博美（近畿大）：「エスニック・ビジネス」の外部一般市場における需要に関する一考察—「排除」「統合」という中間項から「エスニシティ」を語ることを一旦やめてみる | 416 内田忠賢（奈良女子大）：戦時期の高等教育機関による大陸旅行に関する比較研究—奈良女高師の満洲旅行を東京女高師のそれと比較して | 15:00 |
| 317 何 晨（茨城キリスト教大・非常勤）：北京旧城におけるアーバン・リニューアルの現状と土地利用・所有形態の変化 | 〈地図・GIS〉 | |
| | 417 長井彩綾（都立大・院）ほか：旧武蔵国における氷川神社の立地に関する研究 | 15:20 |
| 318 由井義通（広島大）：デリー大都市圏郊外都市ファリダバードにおける住宅開発 | 418 岡部佳世*・岡部篤行（東京大）：屋号から近隣関係を統計的に推測する方法—旧唐桑町への適用 | 15:40 |
| | 419 宇都宮陽二郎（三重大・名誉）：佐渡博物館蔵の地球儀ケースについて—柴田収蔵娘、エン旧蔵の1791年製Cary pocket globeのケース | 16:00 |
| | | 16:20 |
| 第7会場 | | 16:40 |
| 表彰式 | | 16:45～17:15 |
| 2021年度吉野賞受賞記念講演 | | 17:30～18:15 |
| 大村 纂会員：熱収支気候学の発展と応用 | | 17:00 |

第1日目 3月25日 (土) 午後

| 開始時刻 | 第 5 会 場 | 第 6 会 場 |
|-------|--|---|
| | 〈経済・産業〉 | |
| 13:00 | 510 永井知美* (早稲田大・学)・箸本健二 (早稲田大) : 鉄道高架下空間の商業活用—東京都内における再開発に注目して | |
| 13:20 | 511 高橋雅也 (地方公務員) : 業態転換を伴った百貨店撤退跡地の利活用に関する研究—そごう八王子店の跡地利活用を事例に | 〈農業・農村〉 |
| 13:40 | 512 佐竹泰和 (高知大) : 地方企業によるテレワークを活用した人材獲得の動向 | 611 中島柚宇 (名古屋大・院) : 岡山県美作市の狩猟活動と獣害 |
| 14:00 | 513 長谷部太一 (早稲田大・院) : 東京都大田区のノリ問屋集積における生産分業と集積維持要因 | 612 永松天騎* (立命館大・院)・川道美枝子 (関西野生生物研) : 野生動物の捕獲記録に基づく存在確率の空間分布—京都市のアライグマ <i>Procyon lotor</i> およびハクビシン <i>Paguma larvata</i> を例に |
| 14:20 | 514 王 春群 (大阪大・院) : 新潟県における1970年代以降の日本酒製造業の革新 | 613 Anuruddha, M.C. (Univ. of Tsukuba) : Evaluation of socio-economic impact of human wildlife conflict on agriculture-based livelihood in Nuwara <i>Eliya Divisional secretariat</i> -Sri Lanka. |
| 14:40 | 515 山本陽子* (東京農業大・院)・高柳長直 (東京農業大) : 味噌のフランス向け輸出拡大と製造業者の課題 | 614 池谷和信* (国立民族学博)・増野高司 (総合研究大学院大) : ペルーアマゾンにおける先住民の村の焼畑と休閑地利用 |
| 15:00 | 516 岡本勝規 (富山高専) : ウクライナ侵攻後のロシア向け中古車輸出の変化と背景 | 615 川上 香 (総合研究大学院大・院) : 1955年頃の山村における焼畑休閑地の利用—静岡市井川地域の採草地に着目して |
| 15:20 | 517 宮町良広 (大分大) : ロケット打ち上げと地域経済—北海道大樹町を事例として | 616 船引彩子 (東京理科大) ほか : 北海道南部, 静狩湿原の戦後開拓 |
| 15:40 | | 617 Batugoda Gedara, S.K.* (Graduate Student, Univ. of Tsukuba) and Morimoto, T. (Univ. of Tsukuba) : Agricultural Lands Risk Assessment Using Geo-spatial Techniques: A Case Study of Victoria Catchment Area (VCA), Sri Lanka |
| 16:00 | | 618 Nguyen, H.T. (Research Institute for Humanity and Nature) : Spatial prediction of forest product exploitation using community mapping and machine learning |
| 16:20 | | 619 山口哲由* (北星学園大)・竹田晋也 (京都大) : 山地農業における気温と作物栽培の関係—標高帯モデルを考慮した基礎的分析 |
| 16:40 | 第7会場 表彰式 2021年度吉野賞受賞記念講演 大村 纂会員 : 熱収支気候学の発展と応用 | 16:45~17:15 17:30~18:15 |
| 17:00 | | |

第1日目 3月25日（土） 午後

| 第 7 会 場 | 開始時刻 |
|--|-------|
| シンポジウムS2（公開） 関東大震災から百年： あらためて何を学び「地理総合」で いかに教えるか | 13:00 |
| [オーガナイザー] 鈴木康弘(名古屋大)・宇根 寛 (元国土地理院)・田中 靖(駒澤大) 日本地理学会災害対応委員会 | 13:20 |
| 開始時刻 13:00 | |
| S201 13:00-13:05〔趣旨説明〕 鈴木康弘(名古屋大)ほか：「関東大震災 から百年：あらためて何を学び「地理 総合」でいかに教えるか」—シンポジウ ムの趣旨 | 13:40 |
| S202 13:05-13:55〔基調講演〕 武村雅之(名古屋大)：関東大震災を今 に伝える—災害と復興、そして現在の備 えは？ | 14:00 |
| S203 13:55-14:15 熊木洋太(専修大)：首都圏の震災調査 に関する地理学者の貢献 | 14:20 |
| S204 14:15-14:35 中林一樹(都立大)：首都直下地震と災 害リスク評価—被害想定と地域危険度 によるリスクの見える化 | 14:40 |
| S205 14:35-14:55 渡辺満久(東洋大)：首都圏の活断層と 地震防災の課題 | 15:00 |
| S206 14:55-15:15 戸所 隆(高崎経済大・名誉)：震災と 首都機能移転論—レジリエントな持続発 展型国土構造構築のために | 15:20 |
| S207 15:15-15:35 門脇利広(国土地理院)：自然災害伝承 碑の取組と利活用 | 15:40 |
| 〔休憩〕 15:35-15:45 | |
| 〔総合討論〕 15:45-16:25 | |
| 〔コメント〕 井田仁康(筑波大)：地理総合の理念と 関東大震災の位置づけ 八反地 剛(筑波大)：都市周辺におけ る土砂災害の視点 | 16:00 |
| 〔閉会挨拶〕 16:25-16:30 終了時刻 16:30 | 16:20 |
| ----- | |
| 表彰式 16:45~17:15 2021年度吉野賞受賞記念講演 17:30~18:15 大村 纂会員：熱収支気候学の発展と応用 | 16:40 |
| | 17:00 |

第2日目 3月26日 (日) 午前

| 開始時刻 | 第 1 会 場 | 第 2 会 場 |
|-------|---|---|
| | 〈気候〉 | 〈地形〉 |
| 9:00 | 131 一ノ瀬俊明 (国立環境研) : リモートセンシング分野における都市熱環境研究のミスリード | 231 近藤有史 (京都大・院) ほか: 土層の厚く発達する斜面を対象としたソイルクリープによる土層分化過程の解明 |
| 9:20 | 132 浜田 崇 (長野県環境保全研) ほか: 定点カメラと機械学習を用いた高山帯における雲の観測 (2) | 232 太田凌嘉 (学振PD・中央大) *・松四雄騎 (京都大防災研) : 過度な森林資源の収奪による斜面土層の存続性変化と流域環境の遷移—滋賀県・田上山地におけるモデリング |
| 9:40 | 133 土屋日菜* (都立大・学)・松山 洋 (都立大) : バリオグラムを用いた線状降水帯の空間代表性に関する研究 | 233 西川穂波 (北海道大・院) ほか: 知床世界自然遺産地域における海岸漂着物に関する研究 |
| 10:00 | 134 長野真子* (戸板女子短期大・学)・苗村晶彦 (戸板女子短期大) : 対馬島におけるO ₃ 濃度の最高値および季節変動 | 234 佐藤一輝 (弘前大・学) ほか: 青森県深浦町千疊敷海岸に発達するタフォニをつくる形成場の環境について |
| | 〈水文〉 | |
| 10:20 | 135 飛塚大翔*・岩井将行 (東京電機大) : RTK-GNSSとIMUセンサを内蔵する自己位置推定を用いた水位計測用IoTノードの研究 | 235 高波紳太郎 (明治大) : 支笏火砕流台地北部の河川地形 |
| 10:40 | 136 Shi, M.* (Graduate Student, Hokkaido Univ.) and Shiraiwa, T. (Hokkaido Univ.): Estimation of river discharge from the Abashiri River under likely future climate and land use land cover conditions | 236 青山雅史* (群馬大)・千明拓斗 (渋川市立長尾小) : 榛名火山南東麓の流れ山からみた陣場岩屑なだれの土砂供給量と人為的地形改変による流れ山の消失 |
| 11:00 | 137 岡田将誌 (国立環境研) ほか: 関数回帰に基づく生活用水の気象環境応答分析 | 237 宇津川喬子 (法政大) : 常磐海岸南部における最終間氷期の海成段丘構成層の堆積環境 |
| 11:20 | 138 山形えり奈* (法政大・院)・小寺浩二 (法政大) : 最上川流域の水環境に関する研究 (2) | 238 阿子島 功* (山形大・名誉)・坂井正人 (山形大) : ペルー, ナスカ台地の地形分類図 (1)—2m格子DEMによる |
| 11:40 | | |
| 12:00 | 昼 休 み | |

第2日目 3月26日（日） 午前

| 第 3 会 場 | 第 4 会 場 | 開始時刻 |
|--|--|-------|
| | 〈経済・産業〉 | |
| | 431 水島マクマスター美和（神戸女学院中高）：医療サービスの空間的不均衡と医療生協の展開—兵庫県における医療生協を事例に | 9:00 |
| 〈政治・社会〉 | | |
| 332 中澤高志（明治大）：別府市における多文化共生型ステューデントフィクション | 432 森 泰規（博報堂）：居住者の幸福度のもたらす効果の可視化 | 9:20 |
| 333 松宮邑子（埼玉大）：モンゴルにおける日本留学の意味付けの変遷とその現在 | 433 原 真志（香川大）：エウダイモニック・ウェルビーイングの地理学—観光とアントレプレナーシップを中心に | 9:40 |
| 334 森本 泉（明治学院大）：モビリティ向上手段としての留学—ネパール人留学生を事例に | 434 大西健太（都立大・院）：アニメーション産業集積における外部不経済の進行 | 10:00 |
| 335 申 知燕（昭和女子大）：トランスナショナルな移住とモビリティの文化的再生産—アメリカ・ニュージャージー州の韓人移住者家庭における子弟教育を事例に | 435 Llovet Ferrer, M. (Graduate Student, Aichi Prefectural Univ.) : The literature on the Japanese video game industry in the last ten years (2013-2022): A geographical perspective | 10:20 |
| 336 関村オリエ（東京女子大）ほか：『フェミニスト・シティ』を読む（1）—女性の友情の視点から | | 10:40 |
| 337 熊谷圭知（お茶の水女子大・名誉）ほか：『フェミニスト・シティ』を読む（2）—男性と場所構築の視点から | | 11:00 |
| 338 久木元美琴（専修大）ほか：『フェミニスト・シティ』を読む（3）—ケアとインターセクショナルリティの視点から | | 11:20 |
| | | 11:40 |
| 昼 休 み | | 12:00 |

第2日目 3月26日 (日) 午前

| 開始時刻 | 第 5 会 場 | 第 6 会 場 |
|-------|--|--|
| 9:00 | シンポジウム S4 学校教育・生涯学習における 地理情報活用の一般化 | 〈海外地域研究・地誌〉 631 上川夏林* (愛知県立大・院)・竹中克行 (愛知県立大) : 商業活動に見る歴史的 境界の持続性—バルセロナ市サンアンド レウを事例として |
| 9:20 | [オーガナイザー] 大西宏治 (富山大)・奥貫 圭一 (群馬大)・鈴木 允 (横浜国立大)・西 村雄一郎 (奈良女子大)・池口明子 (横浜国立 大) | 632 小島千佳 (明治大・院) : 金融恐慌後の 「新たな住宅問題」と借家人運動—ベル リンの借家人組合誌 <i>MieterEcho</i> に着目 して |
| 9:40 | 開始時刻 9:20 | 633 伊藤徹哉 (立正大) : ドイツにおける歴 史的な文化景観の持続性に関する制度的枠 組み—バイエルン州を事例に |
| 10:00 | S401 9:20-9:30 大西宏治 (富山大) ほか: 学校教育・生 涯学習における地理情報活用の一般化 | 634 竹中克行 (愛知県立大) : イタリアにお けるランドスケープ政策への地理学の寄 与—ランドスケープ教育とランドスケー プ計画を中心に |
| 10:20 | S402 9:30-9:50 杉本智彦: カシミール 3Dによる立体地 形図の普及 | 635 山本健兒 (九州大・名誉) : オーストリ ア・フォラルベルク州の緑地保全地帯 をめぐる論争—ヴァイラ村での住民運動 がもたらした影響 |
| 10:40 | S403 9:50-10:10 西村雄一郎* (奈良女子大)・土屋 純 (関西大) : 卒業論文の主題図作成のた めに始まったMANDARA開発 | 636 Perrem, J. G. (Muroran Institute of Technology) : Contested geographic borders and bonfires: Persistent sectarianism in post-Brexit Northern Ireland |
| 11:00 | S404 10:10-10:30 鈴木 允 (横浜国立大) : 学校教育で統 計地図や新旧地形図を活用する | 637 前田陽次郎 (長崎農産品貿易) : スウェー デン・フィンランド国境にまたがる新都 心建設がもたらす経済効果—ハパランダ トルニオにおける事例研究 |
| 11:20 | S405 10:30-10:50 小口 高 (東京大) ほか: 東京大学空間 情報科学研究センターにおける紙地図資 産の活用の試み | 638 島田周平 (名古屋外国語大) : ナイジェ リアにおける地域的平等問題と大統領選 挙 |
| 11:40 | [コメント] 11:10-11:20 岡本耕平 (愛知大) [総合討論] 11:20-12:00 [司会] 池口明子・奥貫圭一・大西宏治 終了時刻 12:00 | |
| 12:00 | 昼 休 み | |

第2日目 3月26日（日） 午前

| 第 7 会 場 | | 開始時刻 |
|--|--|-------|
| シンポジウム S3 (公開) | | 9:00 |
| 島嶼火山の自然災害 —伊豆諸島における実体と備え— | | |
| 〔オーガナイザー〕 鈴木毅彦（都立大）・市古太郎（都立大）・佐藤 浩（日本大） 日本地理学会災害対応委員会 | | 9:20 |
| 開始時刻 9:00 | | 9:40 |
| S301 9:00-9:10〔趣旨説明〕 鈴木毅彦*・市古太郎（都立大）：シンポジウム「島嶼火山の自然災害—伊豆諸島における実体と対策」：趣旨説明 | | 10:00 |
| S302 9:10-10:00〔基調講演〕 渡辺秀文（東京大・名誉、東京都防災顧問）：伊豆諸島における火山災害対策 | | 10:20 |
| S303 10:00-10:20 井上公夫（砂防フロンティア整備推進機構）：伊豆大島の土砂災害史 | | 10:40 |
| S304 10:20-10:40 山川修治（日本大）：伊豆諸島の気象災害 | | |
| 〔休憩〕 10:40~10:50 | | 11:00 |
| S305 10:50-11:10 市古太郎（都立大）：伊豆諸島の島嶼火山における自然災害対応と生活回復過程 | | 11:20 |
| S306 11:10-11:30 白井里佳（伊豆大島ジオパーク推進委員会事務局）：伊豆大島ジオパークが火山防災に果たすべき役割 | | 11:40 |
| 〔総合討論〕 11:30-12:00 | | 11:40 |
| 終了時刻 12:00 | | |
| 昼 休 み | | 12:00 |

第2日目 3月26日（日） 午後

| 開始時刻 | 第 1 会 場 | 第 2 会 場 |
|-------|---|--|
| 13:00 | | <p>〈地形〉</p> <p>240 後藤秀昭*（広島大）・杉戸信彦（法政大）：沿岸海底地形から認定される房総半島沖および喜界島沖の活断層</p> |
| | 〈水文〉 | |
| 13:20 | 141 鈴木秀和（駒澤大）：浅間山麓における湧水中のフッ化物イオンについて | 241 中田 高（広島大）ほか：簡易モバイルLiDARによる3Dマッピング—活断層・地震断層の計測を中心に |
| 13:40 | 142 小寺浩二（法政大）ほか：石垣島の水環境に関する水文地理学的研究—水文誌と長期間の調査結果から | 242 渡辺 樹*（都立大・院）・石村大輔（都立大）：新潟・長野県境の関田峠における山体重力変形の形成・発達史—茶屋池湿原の高密度掘削に基づく考察 |
| 14:00 | 143 小田理人*（千葉大・院）・小寺浩二（法政大）：統計解析を用いた河川の水質及び流域特性の把握—多摩川水系浅川を事例として | 243 黒木貴一（関西大）ほか：岩国地区の平成30年7月豪雨による斜面崩壊と微地形の形成 |
| 14:20 | 144 林 武司（秋田大）ほか：インドネシア・ロンボク島におけるASGMの特徴（第1報） | 244 渡邊達也*（北見工業大）・山崎新太郎（京都防災研）：グリーンランド・シオラパルクの麓斜面で多発した大規模表層崩壊 |
| 14:40 | 145 小室 隆（海上・港湾・航空技術研）ほか：霞ヶ浦流域内河川における二枚貝タテボシガイの分布と水温特性 | 245 鹿島 薫（島根大・客員研）ほか：フィンランドの年縞湖沼における生物遺骸群集（珪藻・黄金色藻シスト）変動を用いた過去2000年間の洪水頻度・気候変動の詳細復元 |
| | 〈植生〉 | |
| 15:00 | 146 高橋拓也*（都立大・学）・川東正幸（都立大）：多地点サンプリングによる都市緑地土壌の特徴付け | 246 鈴木毅彦（都立大）ほか：関東平野内陸部、多摩丘陵北西端におけるMIS9地形面 |
| 15:20 | 147 梶原拓人（都立大・院）ほか：時空間解析に基づく海岸林植栽基盤の生育環境評価—仙台平野の海岸林を対象として | 247 平峰玲緒奈（都立大・学振DC）ほか：日本列島太平洋岸に分布する漂着軽石—給源火山、生産・運搬過程 |
| 15:40 | 148 立石和奏（京大・院）：北海道礼文島におけるお花畑の植生分布と立地環境 | 248 石村大輔（都立大）ほか：福徳岡ノ場2021年噴火による漂着軽石の円磨度の特徴—漂着場所と時間に着目して |
| 16:00 | | 249 金 幸隆（名古屋大）：御嶽山における登山者参加型避難訓練の実施に基づく登山者の避難行動調査 |
| 16:20 | | |
| 16:40 | | |
| 17:00 | | |

第2日目 3月26日（日） 午後

| 第 3 会 場 | 第 4 会 場 | 開始時刻 |
|--|---|-------|
| 〈人口・行動〉 | 〈地理教育〉 | |
| 340 大沼勇斗（筑波大・院）：汎エスニック ティからみた東京大都市圏における外 国人の居住特性 | 440 吉田 剛（宮城教育大）：幼小中高一 貫地理教育における地理的探究 | 13:00 |
| 341 王 龍飛（大阪公立大・研）ほか：大 阪市中央区南部のエスニック・ビジネ スの集積要因—中国系店舗の事例に着 目して | 441 近藤裕幸*（愛知教育大）・守谷富士 彦（桃山学院教育大）：戦後の小中高 一貫地理教育カリキュラム研究の変遷 | 13:20 |
| 342 井上 孝（青山学院大）：全米小地域 別将来人口推計ウェブマッピングシス テムの公開 | 442 木場 篤（ノートルダム清心中・高）： 中等地理教育における地域の見方・考 え方の位置づけと展望—「小中高一貫 地理教育カリキュラム研究」に向けて | 13:40 |
| 343 橋爪孝介*・三浦魁斗（うつのみや市 政研究センター）：宇都宮市における 少子化の進行と要因分析—類似都市と の比較を中心に | 443 森田泰史（大阪大・院）：高等学校地 理教育における地理情報—アンケート 調査からわかった懸念点とその解決策 | 14:00 |
| 344 小坪将輝*（東北大・院）・中谷友樹 （東北大）：日本の市区町村別生産年 齢人口の減少パターン軌跡分析 | 444 高橋 裕（豊島岡女子学園）ほか：地 理総合オンラインセミナーの実践とそ の効果 | 14:20 |
| 345 草野邦明（群馬大）：東京都区部にお ける高齢者人口集中地区の分布 | 445 高橋信人（宮城大）ほか：高校教科書 「地理総合」における防災分野の計量 テキスト分析 | 14:40 |
| 346 本多一貴（立正大・学）：長野県御代 田町における移住者の社会関係からみ た定住化の進展 | 446 石橋 生（桐蔭学園高）：物件探しから 考察する災害リスク調査 | 15:00 |
| 347 小原満春（和歌山大・客員研）：ライ フスタイル移住者の帰還に関する研究 —沖縄県の事例 | 447 青木邦勲（玉川聖学院中等部・高等 部）：地理総合を意識した中学校地理 的分野の指導実践 | 15:20 |
| 348 堀本雅章（法政大）：八丈小島におけ る無人島化への要因 | 448 河合豊明（品川女子学院）：高校生 の遠隔地交流による効果と今後の展開 | 15:40 |
| 349 永田彰平（東北大）ほか：人流変化を 媒介した非薬物的介入のCOVID-19流 行への影響評価 | 449 小林岳人（千葉県立千葉高）：各国官 製Web地図利用による地理的な見方・ 考え方の育成 | 16:00 |
| 350 畔蒜和希：保育労働者のオンラインコ ミュニティと多様な働き方 | 450 山内啓之（東京大・院）ほか：VRと メタバース技術を活用したフィールド ワーク教育の効果と課題 | 16:20 |
| 351 杉山武志（兵庫県立大）：兵庫県の多 自然居住地域をめぐる地域再生政策の 転換とコミュニティ経済への影響 | 451 井内麻友美（日本大・院）：東京都市 圏におけるモバイルプラネタリウム会 社の事業実績からみた小学校団体利用 の地理的選択 | 16:40 |
| | | 17:00 |

第2日目 3月26日（日） 午後

| 開始時刻 | 第 5 会 場 | 第 6 会 場 |
|-------|--|--|
| 13:00 | | |
| | 〈観光〉 | 〈海外地域研究〉 |
| 13:20 | 541 井口 梓（愛媛大）：石鎚山における登山者の行動特性と近年の登山観光 | 641 渡辺悌二（北海道大）ほか：ネパール，サガルマータ国立公園の主要村落における家畜所有頭数 |
| 13:40 | 542 原 雄一（京都先端科学大）：プラタモリ徹底分析から構築する痕跡学プラットフォーム | 642 佐々木美紀子*（北海道大・院）・渡辺悌二（北海道大）：ネパール，サガルマータ国立公園クムジュン村の牧畜のいま |
| 14:00 | 543 櫛引素夫（青森大）：「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録が地域にもたらした変容―「観光の組織化」の観点から | 643 王 婷（北海道大）ほか：サガルマータ国立公園における人と観光関連家畜の無秩序な歩行による登山道の荒廃 |
| | | 〈歴史・文化〉 |
| 14:20 | 544 高村 楓（駒澤大・院）：世界文化遺産ベトナム・フエの遺跡群―歴史的背景および立地環境を踏まえたチャンハイ砦群の再評価 | 644 成瀬 厚（独立研究者）：編集される世界旅行―写真家田沼武能の旅行記作品の分析 |
| 14:40 | 545 初澤敏生（福島大）：COVID-19の流行が修学旅行に与えた影響 | 645 齊藤由香（金城学院大）：考古遺跡を景観としてとらえる意味―スペイン・アンテケラのドルメン遺跡に関する考察 |
| 15:00 | 546 池田千恵子（大阪成蹊大）：「まちやど」による地域の持続可能性について―香川県仏生山温泉を事例として | 646 細井將右（地図情報研）：スペイン国立地理研究所初代所長カルロス・イバニェス・デ・イベロ |
| 15:20 | 547 小野澤泰子（尚綱大）：転換点を迎えた持続的アニメツーリズム聖地に関する考察―『夏目友人帳』ロケ地としての熊本県人吉市の事例 | |
| 15:40 | 548 柿沼由樹（筑波大・院）ほか：観光地域における住民の場所イメージの再編―東京都神津島村における星空の観光資源化と星空保護区への認定を事例に | |
| 16:00 | | |
| 16:20 | | |
| 16:40 | | |
| 17:00 | | |

第2日目 3月26日（日） 午後

| 第 7 会 場 | | 開始時刻 |
|--|--|-------|
| シンポジウム S5 | | 13:00 |
| 寒冷地域の自然地理学： この10年の進歩と将来 | | |
| 〔オーガナイザー〕 荻谷愛彦（専修大）・目代邦康（東北学院大）・小森次郎（帝京平成大） | | 13:20 |
| 開始時刻 13:00 | | |
| 13:00-13:05 荻谷愛彦（専修大）〔趣旨説明〕 | | 13:40 |
| S501 13:05-13:25 菅沼悠介*（国立極地研究所，総合研究大院大）・澤柿教伸（法政大）：南極氷床変動史研究から大規模氷床融解メカニズムの理解へ | | 14:00 |
| S502 13:25-13:45 福井幸太郎*・飯田 肇（富山県立山カルデラ砂防博物館）：飛騨山脈北部の現存氷河の特性 | | 14:20 |
| S503 13:45-14:05 奈良間千之（新潟大）：リモートセンシングを用いた白馬連山の地形調査とアウトリーチ | | 14:40 |
| S504 14:05-14:25 石丸 聡（北海道立総合研究機構）：近年の多雨化に伴う北海道の化石周氷河斜面の斜面崩壊について | | 15:00 |
| S505 14:25-14:45 荻谷愛彦（専修大）：日本アルプスにおける氷河堆積地形と斜面崩壊定着地形の判別 | | 15:20 |
| S506 14:45-15:05 澤田結基（福山市立大）ほか：十勝坊主の凍上観測とアウトリーチ活動 | | 15:40 |
| 〔休憩〕 15:05-15:10 | | |
| S507 15:10-15:30 高岡貞夫（専修大）ほか：山地におけるジオ多様性と生物多様性—山地の池沼を事例に | | 16:00 |
| S508 15:30-15:50 小嶋 尚（明治大・名誉）：ヨーロッパハイマツ帯の景観 | | 16:20 |
| 〔コメント〕 15:50-16:20 水野一晴（京都大）・小森次郎・目代邦康 | | 16:40 |
| 〔総合討論〕 16:20-17:00 | | |
| 終了時刻 17:00 | | 17:00 |

第1・2日目 3月25・26日（土・日）

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月25日（土）10時～18時までと3月26日（日）9時～15時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、3月25日（土）17時～18時もしくは3月26日（日）11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

| | | | |
|------|---|------|---|
| P001 | 天野宏司（駿河台大）：アニメ・ツーリズムの広がり—マンホール蓋に描かれたアニメーション | P011 | 潘 毅（筑波大・院）：Google earth engineでLandsat8及びSentinel-2を用いた地表温度図の解析度の向上に関する研究 |
| P002 | 矢部直人（都立大）ほか：新型コロナウイルス感染症の影響による大都市圏と地方の旅行流動に関する地域差 | P012 | 秋山祐樹*・水谷昂太郎（東京都市大）：統計情報を活用した将来の空き家分布予測手法の検討 |
| P003 | 濫谷和樹（立教大）ほか：観光MaaSの現状と課題—自治体を対象としたアンケート調査による分析 | P013 | 青島光太郎（筑波大・学）：「現代世界の課題」学習の授業提案—モデル学習を活用して |
| P004 | 柴辻優樹（慶應大・学振DC）：政令指定都市・中核市における母子世帯への公的支援と児童扶養手当受給世帯の割合 | P014 | 小関祐之（山梨県教育委員会）ほか：大学入試における自然災害と防災に関する考察 |
| P005 | 畑中健一郎（長野県環境保全研）：自治会活動による希少種保全の可能性—長野市浅川地区の事例から | P015 | 大谷 杏（福知山公立大）：福知山市内における大学生向けフィールドワークの実施と評価—地域資源への気づきを目的として |
| P006 | 飯田義彦（筑波大）：白山生物圏保存地域の拡張登録と持続的自然保護モデルの新展開 | P016 | 伊藤直之（鳴門教育大）：ジオ・ケイパビリティ・プロジェクトにおける知識観の変容—第2期と第3期のヴィネット比較を通して |
| P007 | 岩崎亘典（農研機構農環研）ほか：Pythonを利用した地理総合実習コンテンツの作成 | P017 | 渡邊 巧（広島大）ほか：社会科地域学習における小学校教師の授業づくりとその背景—5名の教師へのインタビュー調査 |
| P008 | 星野賢史*・研川英征（国土地理院）：黄金比を用いた地形彩色方法の検討 | P018 | 太田 慧（高崎経済大）：群馬県高崎市における中心市街地の業種構成と空間特性 |
| P009 | 研川英征（国土地理院）ほか：自然災害伝承碑データとその分析事例 | P019 | 土居晴洋（大分大）：わが国における大正～戦前期の埋葬・墓地の地域的特質 |
| P010 | 荒堀智彦（日本大）：健康リスク評価のための地理空間情報と疾病地図—衛生制度の変遷と疾病地図の社会的応用に関する検討 | P020 | 須崎成二（明治大）：1970年代後半の東京におけるゲイビジネスの空間分化 |

第1・2日目 3月25・26日(土・日)

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月25日(土)10時～18時までと3月26日(日)9時～15時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、3月25日(土)17時～18時もしくは3月26日(日)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- | | | | |
|------|--|------|--|
| P021 | 三原昌巳(昭和女子大)ほか: 上信越地域における高速交通体系を利用した医療従事者の通勤圏拡大と医療提供体制の変化 | P031 | 八木浩司(深田地質研・客員)ほか: 2022年8月豪雨に伴う山形県飯豊町における山地斜面災害 |
| P022 | 稲田大晟(都立大・学)ほか: 千葉ニュータウンにおける21世紀初頭の居住地選択の新しい動向 | P032 | 鈴木比奈子(栗駒山麓ジオパーク推進協議会)ほか: ジオパークが構築する2008年岩手・宮城内陸地震アーカイブ |
| P023 | 池田和子(農政調査委員会): ミカン農家による収穫アルバイト自宅受入の背景—愛媛県八幡浜市真穴地区の事例 | P033 | 横山俊一(信州大)ほか: 神城断層地震震災アーカイブと連携した看板の設置について |
| P024 | 渡邊敬逸(愛媛大): 旧市町村単位の過疎状況の検討による「忘れられた過疎地」の特定 | P034 | 中川安乃*(法政大・学)・山口隆子(法政大): 自然災害伝承碑の分布と活用事例—愛知県名古屋市を例に |
| P025 | 谷口晴彦(京都在大・院): 近年の農業用ため池に関連する法律が地域に与える影響—大阪府泉北地域における地域行政と水利組織を事例に | P035 | 三浦エリカ*(法政大・学)・小寺浩二(法政大): 三浦半島における大規模宅地造成と災害時要援護者の避難支援の検討 |
| P026 | 山本沙野香(専修大・院)ほか: 砺波市における都市機能の分散と田園地帯における都市機能の特性 | P036 | 熊谷美香(大阪公立大): 大規模広域災害発生時の救援活動拠点・避難所配置からみた救援システムの検討 |
| P027 | 橋本 操(岐阜大)ほか: 松本市四賀地区・奈川地区における地域住民の被害に対する意識と対策への関わり | P037 | 荒木一視*(立命館大)・岡田ひかり(立命館大・院): 震災後を想定した救援活動支援地図の作成に向けて—ハザードマップの後を見越した和歌山県みなべ町における検討 |
| P028 | 服部亜由未(愛知県立大): ニシン漁獲地域における定置漁業権の変遷 | P038 | 清水長正(早稲田大・非常勤): 日本の風穴の資料—『地図中心』連載の「日本風穴紀行」総括 |
| P029 | 三納正美(九州大)ほか: 美保関事件で沈んだ駆逐艦蔵の探査と3次元モデルによる可視化 | P039 | 佐藤 匠*(専修大・院)・荻谷愛彦(専修大): 北アルプス北部, 八方沢地すべり地における完新世後期以降の環境変化 |
| P030 | 秋山 唯*(筑波大・院)・池田真利子(筑波大): 思想の越境—日本におけるスローフード運動の「味の箱船」活動の事例から | P040 | 太田義将(京都在大・学振DC)ほか: 隆起山地における地形発達史の定量的復元と深層ボーリングコア中の宇宙線生成核種に基づく検証—近畿三角帯西部の山地を事例として |

第1・2日目 3月25・26日（土・日）

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月25日（土）10時～18時までと3月26日（日）9時～15時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、3月25日（土）17時～18時もしくは3月26日（日）11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

| | | | |
|------|--|------|---|
| P041 | 堀 和明（東北大）ほか：源流から河口に至る河川縦断形の作成 | P051 | 高橋尚志*（東北大）・石井祐次（産総研）：相模川中流域、葛原周辺における最終間氷期以降の河谷埋積過程 |
| P042 | 高橋直也*（東北大）・荒井悠希（東北大・学）：河床材料の多寡は岩盤強度と河床勾配の関係を变えるか | P052 | 小柴理人*（茨城大・院）・小荒井 衛（茨城大）：八ヶ岳大月川流域における大月川岩屑なだれ堆積物の給源と地形発達 |
| P043 | 田中 靖（駒澤大）ほか：拡散モデルとLiDAR DEMによる推定土層厚分布地図の作成 | P053 | 飯島慈裕（三重大）ほか：干渉SARの2.5次元解析を用いた稲子岳周辺の地形変位の検出 |
| P044 | 小荒井 衛（茨城大）ほか：メッシュサイズとデータソースの異なるDEMの地形解析特性について | P054 | 井口 豊（生物科学研）：諏訪盆地西部における御岳第一テフラの分布と特徴 |
| P045 | 吉田一希（国土地理院）：低地の地形解析に適した高精度DEMの作成 | P055 | 植木岳雪（帝京科学大）：高知県、加奈木のつえの初生年代—天然ダム堆積物の ¹⁴ C年代に基づいて |
| P046 | 濱 侃（千葉大）ほか：低価格レーザー扫描仪を用いた簡易型3Dマッピングシステムの構築 | P056 | 加藤花月（九州大・院）ほか：喜界島北東海岸における完新世離水サンゴ礁と初期カルスト地形 |
| P047 | 南雲直子（土木研）ほか：安平川人工水路における浮遊砂による地形形成 | P057 | 佐藤 浩（日本大）ほか：ネパール・ラムジュン郡における岩盤地すべりの現地調査 |
| P048 | 佐藤善輝（産総研）ほか：青森県小川原湖湾口部における完新世地形環境変遷 | P058 | 小山拓志（大分大）：四国山地における草原の分布特性 |
| P049 | 丹羽雄一*（慶應大）・須貝俊彦（東京大）：東北太平洋岸南部・真野川低地における完新世の堆積環境と地殻変動傾向 | P059 | 長田強志（日本大・院）ほか：鬼怒川流域に成立する上部温帯林の植生動態 |
| P050 | 小松原 琢（産総研）：関東～東北地方の最終氷期の堆積段丘の離水期 | P060 | 細渕有斗（日本大・院）ほか：大佐渡山地北西斜面の風衝地にみられる植生の特徴 |

第1・2日目 3月25・26日（土・日）

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月25日（土）10時～18時までと3月26日（日）9時～15時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、3月25日（土）17時～18時もしくは3月26日（日）11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- | | | | |
|------|---|------|---|
| P061 | 山縣耕太郎*（上越教育大）・根津 裕（津南小）：苗場山岳高山帯における植生景観とその成立条件 | P071 | 高橋昂輝（北海道大）：国際移民の高齢化と老後の戦略的トランスナショナルリズム—カナダ・トロントのポルトガル系移民高齢者による実践 |
| P062 | 棚橋 廉（都立大・院）ほか：リモートセンシングと機械学習を用いた環境モニタリング手法の検討—釧路湿原を対象として | P072 | 任 海（日本大）ほか：中国における国家級自然保護区の発展と空間分布特性 |
| P063 | 市野美夏（ROIS・DS人文学オープンデータ共同利用センター）ほか：日記天候記録を用いた東京における1720年以降の日射量復元 | P073 | 穂積謙吾（早稲田大）ほか：ベトナム・カマウ省ダムドイ県の養殖エビ仲買業者におけるCOVID-19の影響—集荷園との関係に注目して |
| P064 | 田上善夫*（富山大・名誉）・Demarée, G.R.（ベルギー王立気象研）：江戸時代後期の天気記録による日本の北方の気候復元 | P074 | 頼 上楡（筑波大・院）ほか：台湾と韓国における日本統治時代遺産の現状に関する文化遺産学的研究—台北とソウルの使用される「リトルビルディング遺産」に注目して |
| P065 | 大久保 優（専修大・院）ほか：日本の灯台気象観測記録による19世紀後半以降の冬季の気圧配置指標と気温の変動との関係 | | |
| P066 | 千葉 晃（練馬区立石神井西中）：東京・大手町における0.5mm以上の時刻別降水頻度—お昼の「ランチ時」に雨が降っている頻度は？ | | |
| P067 | 花田心吾*（法政大・学）・小寺浩二（法政大）：遠賀川流域の水環境に関する研究（2） | | |
| P068 | 松本達志*（法政大・学）・小寺浩二（法政大）：三宅島の水環境に関する水文地理学的研究 | | |
| P069 | 乙幡正喜*（法政大・院）・小寺浩二（法政大）：狭山丘陵の水環境に関する水文地理学的研究—河川源流域の汚染源を中心に（6） | | |
| P070 | 李 恩（法政大・学）ほか：堰が河川環境に与える影響とその季節変化—洛東江・多摩川・遠賀川を中心に | | |